

さわらび

2018. 12. 25 No. 27 文責：大塚

練習や経験がいるもの

12月15日(土)に参観日と並行して開催した学校運営協議会で、委員さんから、次のような意見がありました。

11月3日の防災の学習、いろんな年齢の人が集まってよかった。ただ、少し残念なことは、中学生の声こゑが小さいこと。堂々と発表・発言することは大事。大きな声で話さないと伝わらない。どんな時代になっても大事なことから、日頃から癖くせを付けておくことです。

そのとおりだと思います。小規模校だから、人数が少ないから、今は小さい声でも聞こえます。でも、みんなはずっとここで、この学校だけで生活していくものではありません。3年生はもう3か月先には、それぞれが選んだもっと広いところで大勢の新しい同級生との出会いがあります。1、2年生もうちの学校を卒業したら、同じようにもっと広い社会が待っています。そのことを思うと不安に思う人もいられるかもしれませんが、それは現実として訪れることです。

声の大きさ・返事・あいさつ……。これらすべては、コミュニケーションというものです。

コミュニケーションで大切なのは、口から出る【言葉】だけではなく、【タイミング】【間】【表情】【声の大きさ】等々、【言葉】以外のことで相手への伝わり方が違います。

怒った顔で「ありがとう」と言われても、うれしくありません。「あいさつは、相手がどれくらい近くにきたらする？」と言われたらどうでしょうか。「見かけたら」「10m」「すぐ近く」いろいろだと思います。目があったときに「おはよう」と言ってもらえず、無視されたと思って悲しくなることもあります。

今、小さい声で話していることが、相手や周りの人にとってどう感じるのか。本当はその人の存在に気づいているけれど、すれ違うときに初めて「こんにちは」というあいさつをする……。近づくまでの間の時間が、相手に「おやっ」という思いを抱かせます。ここに、「そんなつもりではないのに」という誤解が生まれます。

こんなことを考えながら、自分のコミュニケーションを振り返ってみましょう。どうしたらうまくいくのか。そこには、練習や経験も必要です。

そういう意味では、先日の生徒会役員選挙の演説会(候補者、推薦者、進行をした選挙管理委員)、ほんとうにすばらしかったと思います。参加したみんなの発表の仕方、語り方、話した内容……。こういう積み重ねが大事です。最初から堂々と語る人はいません。みんなこういう場を経験して、練習を繰り返して体で覚えるものです。

そして、それを使う場面は毎日あります。朝起きて、家を出て、登校中、学校で、部活も済んで帰るとき、帰宅後、夜寝るまで、たくさんあります。

これからも自分のために取り組んでいきましょう。

小学校への読み聞かせ・4回目

今年度から始めた小学校へ行っての絵本の読み聞かせが、12/12(水)で4回目になりました。これで全員が1



回は行くことになります。今回は、亮嘉君と航聖君でした。1、2年生で、「もう、ねるんだってば!」と「あのひのクジラ」の2冊を読んできました。

次は1月です。

12/15参観日(親子でクッキング/面談/授業公開)

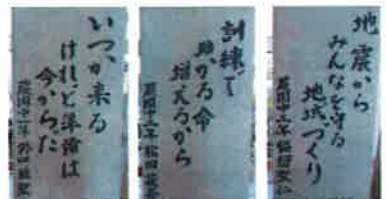
おうちの方への日頃の感謝の気持ちを伝えようと、1、2生の家庭科を中心に準備してきました。当日は、親子でスイートポ



テトを作りました。喫茶店風に飲み物メニューまで用意して、おいしくいただきました。

わらたけ/ピ/ピ会 の標語看板

今年度の標語の入選作を看板にして、学校近辺に設置しました。



外田航聖君、松田花奈さん、福留聖仁君の作品です。また、看板の制作には、学校運営協議会委員の谷口隆一さんにご協力いただきました。ありがとうございました。

生徒会役員選挙

12月21日(金)、生徒会役員選挙を行いました。候補者・推薦者の演説の後、投票を行い、松田花奈さんと村松虎次君が生徒会執行部として決定しました。認証式や引き継ぎは、3学期はじめになっています。

■候補者の演説内容の抜粋

【花奈さん】これからさらに1人1人の責任も大きくなる。みんなで支え合う学校にしたい。執行部になれば学ぶことがたくさんあると思う。私は長所を伸ばして、声が小さいという弱さをなおしたい。そういういい機会だと思う。

【佑希君】明るく楽しい学校にしたい。僕は発表や意見を言うのが苦手。執行部になったらあいさつや返事もがんばりたい。

【航聖君】小さなことにもみんなで協力していくことでいい学校になる。

みんなで掃除を頑張ってきれいな学校を目指しましょう。

【虎次君】僕は人前で緊張するので、その弱さを克服して分かりやすい発表をしたい。みんなを明るくしたいし、困っている人がいたら一緒に解決策を考えたい。

